

■平成23年度主な行事

- 4月 中1 入校時合宿、高1 入校時学習合宿、中3沖縄修学旅行
- 5月 中2大佐山・大山教育キャンプ、演劇鑑賞(ベニスの商人)
- 6月 高2修学旅行(北海道・豪州の選択制)
- 7月 海外短期研修出発(カナダ25日～)、オープンスクール(31日)
- 8月 ほつま同窓会総会(14日校内)、姉妹校韓国春川女子高校訪問(23日～)
- 9月 ほつま祭(10・11日友愛セールは11日)、高校体育会(21日)
- 10月 中学体育会(1日)、中・高入試模試(30日校内・岡山・福山)
- 11月 教育研究大会(12日校内)、創立117年記念式(19日)
- 1月 中学入学試験(5日)、高校入学試験(30日)
- 2月 高校卒業式(29日)
- 3月 中学義務教育修了式・ゆずり葉の会(17日)

※アンダーラインの行事は、皆さまにもご参加いただけます。
詳細は学校までお問い合わせください。



■生徒の夢が実現する学習活動

①ますます充実の中高大連携

主に中学3年から高校2年を対象に、大学から講師を招いての講義、探究クラス生徒の課題に対してのアドバイス。生徒が興味関心を持つ、大学の研究室や企業、博物館などを訪問。提携大学7大学18学部、研究施設・企業・博物館等8施設

②探究の取り組み6年目

「探究」の目的は「論理的思考法やプレゼンテーション能力の育成」にあります。これは、探究クラスのみでなく、中学1年生から高校3年生まで全員に育てほしい力です。そのために、22年度から中学3年生にも探究の授業を週1時間取り入れました。



■SSH校に本校が指定されました

文科省が平成14年度より、国際的に活躍できる理数科の人材育成を目的に進めている、スーパーサイエンスハイスクール事業(SSH)に平成23年度金光学園が指定されました。SSH指定で、大学や研究機関の一層の強力な支援が受けられ、海外とも連携しやすくなります。本校は、文系も理系も中高6年間全校生徒対象に探究学習の一層のグレードアップを目指しています。

■姉妹校韓国春川女子高等学校との交流深まる

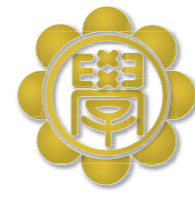
平成20年秋に姉妹校提携を結んだ、春川女子高校。昨年10月に15名の生徒と3名の先生方が訪問され、本校生徒の家庭にホームステイをしながら、共に学習し友好を深めました。今年は、8月23日から春川女子高校に生徒15名と教員3名が訪問し交流します。

■活躍する部活動

平成22年度には、高陸上競技部、高少林寺拳法部、中・高放送部、音楽部コーラスが全国大会出場を果たし、高陸上競技部、中・高卓球部、高少林寺拳法部、高囲碁将棋部、中バレー部、中電科部が中国大会に出場しそれぞれ健闘した。この他の部もそれぞれに、自己鍛錬とチーム作りを行い上位進出を目指して日々頑張っている。

■会員の皆様からのメッセージ

- 子どもたちが、文武両道を目標に学校生活を送れるよう、環境を整えてあげられたらと思っております。
- 母校金光学園がますます発展し、社会に貢献する有能な人材を育成していただけることを願っています。
- 育てていただいた金光学園に感謝し、未来を支える人間を育成する教育に期待しています。●昨年50年ぶりに母校を訪ねました。一番北側の校舎が残っていて大変懐かしく思いました。在校生は往時の3分の2前後と伺いましたが、その分一人ひとりの生徒諸君が大切にきめ細やかに育てられているのだろうと感じました。最近同窓会が増え、学園歌を歌うたびに母校のますますの発展を祈念しています。●東京への学園の進出、大きなマーケットで勝負していただきたい。●今あるのは、間違いなく学園の6年間のおかげと感謝しながらの毎日です。●佐藤範雄先生の遺志を継いでますますの発展を。●伝統を受け継ぎ、守り、存在すること。地域に愛される存在であること。●在校生の学習環境整備改善のため、メタセコイアは機能して欲しい。●永遠に学園が地域の教育の場であり、世界に旅立つ出発の場でありますように。●学徳体の中高一貫教育、伝統校の一層の発展をお祈りします。●誰でもが親しめる、良い学校になればいいなと思います。●学園の人間教育は、日本の復興には欠かせない貴重な教育と確信しています。●学園創立の理念は不朽です。私たち応援団も報本反始で活動を続けましょう。●「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の生き方は素晴らしい。「メタセコイアの会」も「世話になるすべてに礼を言う心」を大切に使命を全うしたい。



金光学園中学高等学校

教育後援会

「メタセコイアの会」のご案内

Guide to the education supporters' association



'2011

金光学園中学高等学校

教育後援会「メタセコイアの会」

金光学園中学高等学校

教育後援会「メタセコイアの会」へのご支援を

教育後援会「メタセコイアの会」会長 市川敏幸

皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より金光学園教育に対しましては、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

金光学園教育後援会「メタセコイアの会」は、平成20年秋の創設以来3年が経ちました。この間延べ600人余りの方々にご協力を頂き、そのご厚志で、金光学園のシンボルともいえる、記念講堂の改修や空調、照明、放送設備設置などの改善を実現できました。大変ありがたく、心より感謝申し上げます。

さて、現在、子どもを取り巻く環境は、年々難しくなっていることは周知のとおりです。その中で、今年創立117年を迎える金光学園が、建学の精神に基づき「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の実践を通して、真に世のお役に立つ人材育成に努めていただいていることは大変喜ばしいことであり、これからの教育にますます期待するものであります。

この会は、会則に掲げてありますように、生徒に直接かかわる「施設設備等充実」「奨学基金」「クラブ活動助成」を目的に設立したものです。現在、私学は大変厳しい状況におかれています。このような時であるからこそ、金光学園にご縁のある皆様からの温かいご支援を頂いて、金光学園がますます発展し、生徒たちが、のびのびと勉学や部活動に励むことができる、サポーターになればと願うものです。

今年度より、ほつま同窓会、やつなみ保護者会、金光教関係、現・元教職員、さらには地域企業・団体、個人の方々など広くお声掛けをさせていただくことにいたしました。そして、お一人でも多くの方にご賛同を頂けるよう、年会費を一口5,000円にさせていただきました。金光学園の教育後援活動は、皆様方のご支援で成り立つものです。趣旨をご理解の上、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

金光学園教育後援会「メタセコイアの会」役員

顧問：佐藤元信
会長：市川敏幸 副会長：平林 実 山口哲史 山本雅夫
幹事：占部守弘 大野 豊 中桐真彦 長鋪方隆 中務祺九大 昼田哲士 守永一彦
監事：北浦信夫 小林彬二 事務局長：佐藤正俊

平成23年度「メタセコイアの会」総会のご報告

6月25日(土)、記念講堂において、30数名の出席により、平成23年度の総会が開催された。会長、校長、前校長のご挨拶の後、プロジェクターにより学校近況報告がなされた。報告事項では、発足以来の会計報告と事業報告があった。また、今年度より、会則の改正があり、名称に「教育後援会」を加えること、役員数の変更、年会費が一口1万円から5千円に変更するなどが報告された。役員改選については、上記役員が選出された。その他、会報誌の刷新、現保護者への呼びかけなども決定された。最後に、全員から意見発表があり、終始金光学園に対する熱い思いが語られ、この会の使命を一層感じることができた有意義な会であった。



教育後援会へ支援の手続きについて

- ご賛同を頂ける方は、年会費を別紙振込用紙で納入してください。直接学校事務室で納入してください。
- 年会費は1口5,000円ですが、可能な方は、2口以上お願いたします。
- 年会費は、「入会金」ではありませんので、以前ご入金くださった方も、今年度もお振り込みをお願いいたします。
- 法人として「金光学園教育振興協力基金」に全額損金扱いの「指定寄付」をお考えいただける場合は、下記までご連絡をお願いいたします。なお、こちらにご寄付いただいた場合も「メタセコイアの会」の協賛者として登録し、会員とさせていただきます。

【連絡先】学校法人金光学園「指定寄付金」係
Tel:0865-42-3131 Fax:0865-42-4787



金光学園教育後援会「メタセコイアの会」会則

- 名称及び事務局
〔第1条〕この会は、金光学園教育後援会「メタセコイアの会」と称し、事務局を金光学園内に置く。
- 目的
〔第2条〕この会は、金光学園の建学の精神に賛同する人たちが、学校運営について意見を出し合い、会費によって、厳しい状況下における学校経営に貢献するとともに、「金光学園教育振興協力基金」の活性化をはかることを目的とする。
- 会員
〔第3条〕この会は、前条の目的に賛同し、金光学園教育を応援する会費納入者をもって会員とする。
- 役員及び定数
〔第4条〕この会に、次の役員を置く。
会長 1名、副会長 2名以上4名以内、幹事 7名以上10名以内、監事 2名、事務局長 1名
- 役員を選出
〔第5条〕役員は、会員の内から、総会において選出する。
- 役員任期
〔第6条〕役員任期は、3年とする。ただし、補欠の役員任期は前任者の残任期間とする。
2 役員は、再任されることできる。
3 役員は、任期満了の後でも、後任の役員が選出されるまでは、なお、その職務を行う。
- 役員職務
〔第7条〕会長は、この会を代表し、会務を統括し、役員会及び総会を招集して、その議長となる。
2 副会長は、会長を補佐するとともに、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
3 幹事は、会務を分掌する。
4 監事は、会務の執行及び会計を監査し、これを役員会及び総会に報告する。
5 事務局長は、会の経理、会の記録及び事務並びに会員の掌握を担当する。
- 役員会
〔第8条〕役員会は、会長、副会長、幹事、監事及び事務局長をもって構成する。
2 役員会においては、会の運営に関するすべての事項を審議し決定する。ただし、第5条の役員選出は除く。
3 役員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 総会
〔第9条〕総会は、必要に応じて会長が招集する。
2 総会が開催されない場合は、当該年度の活動報告及び会計報告は紙面をもって行うこととする。
- 顧問
〔第10条〕顧問は、役員会の推薦に基づき、会長から委嘱を受けて就任し、この会の運営に関して会長の諮問に答えるものとする。
- 運営及び年会費の額
〔第11条〕この会の運営に要する経費は、年会費、その他の収入をもって充てる。
■年会費の使途
〔第12条〕年会費は、以下のそれぞれの目的により設立された「金光学園教育振興協力基金」に、役員会で決定した額を寄付し、その具体的な使途については学校と相談して決定する。
A 施設設備等充実基金 B 奨学基金 C クラブ活動助成基金
- 会計年度
〔第13条〕この会の会計年度は、毎年4月1日から、翌年3月31日までとする。
- 会則の変更
〔第14条〕会則を変更しようとするときは、役員会の議決を経て、総会で報告する。
(附則) この会則は、平成20年11月8日から施行する。
(附則) この会則の変更(第1条、第4条、第8条、第11条)は、平成23年6月25日から施行する。

平成22年度会務・会計報告

【会務報告】

6月22日 第1回役員会
7月12日 会報発行(18,000部)
7月13日 会報発送・会員募集開始
9月下旬 金光教各教務センターを通じて金光教全教会に入会案内
11月6日 第2回役員会
11月中旬 22年度寄付事業「記念講堂改修・設備等設置」
2月17日 会則見直し原案作成委員会

【会計報告】

	科目	金額(円)	摘要
収 入	会 費	4,060,101	
	繰越金	1,891,990	会員数186名
	雑 費	2,167,349	H21年度より
支 出	雑 費	762	利子
		2,256,160	
	印刷費	200,000	会報誌
	会議費	5,670	役員会茶菓
	通信費	20,350	切手代他
	修理費	30,000	蓄音機修理
	寄付金	2,000,000	記念講堂改修費他
	雑 費	140	振込手数料
	差引残	1,803,941	H23年度へ繰越

記念講堂が1/30の模型に

- 皆様のおかげで、改修された記念講堂がこの度、模型として作られ3月19日に寄贈された。以下は、その際の際の山陽新聞記事である。
- 国重要文化財田旭東幼稚園舎などを手掛けた江川三郎八の設計とされる金光学園記念講堂の30分の1の模型が寄贈された。江川三郎八を研究しておられる東岡山工高の難波好幸先生と同校の生徒3人が実物と同じ建築素材ヒノキを使って約1年掛かりで制作した。同講堂で行われた贈呈式で難波教諭は「柱の凝った装飾や格式ある格天井、特徴的な丸い屋根窓など手が込んだ作り」と説明。江川の経歴や他の建築について講演し、出席した在校生や同窓生約40人が熱心に聞き入った。金光学園中学高校の佐藤元信校長は「微に入り細をうがつ作品。伝統建築に寄せる情熱と高い見識、技術が感じられる」と感謝状を贈った。

